

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こばんはうすさくら 浜松原島教室

公表日 令和8年2月20日

利用児童数 22名

回収数 16名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	4	1	2	実際どの活動で部屋をどのように使用しているのかが把握できていない。	契約時や面談等で部屋の使い方や活動の仕方など具体的に説明していく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	0	2	マンツーマンで対応できている場面があったり、信頼関係がきていて良いが、もう少し活動内容や様子が細かく聞けると良い。	児童とは今後も信頼関係を築いていくよう関わりを深めていく。リトムや送迎で児童の様子等をもう少し細かく伝えていく。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1	0	2	物の置き場所が明確でおもちゃの棚が丁寧で分かりやすかった。一日の流れがルーティン化されていて理解しやすくなっている。	今後も児童の状況を観察しながら必要に応じて写真や絵カードなどの視覚ツールを使用していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	1	いつも清潔に保たれ心地よい環境になっている。活動がしやすいように広い空間が保たれている。	毎日の清掃や整理整頓を怠らずに清潔な環境を維持し児童が過ごしやすい空間を今後も提供していく。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	0	子どものことをよく理解して学校や家庭の様子も踏まながら支援を考えてくれている。SSTの効果がどの程度かは判断がつきにくい。	信頼をしていただいているのでご家庭からの相談や困りごとにもアドバイスができるよういけるよう児童の情報や様子を把握していく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	4	支援プログラムというものがよくわかりません。	面談や日常の送迎など、保護者の方と関わる時に説明をしていく。支援プログラムとはどんなものかということを伝えていく。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0	子供の改善した方が良いところや、できるようになった事など日頃の様子をよく見てくれているなど感じる内容で客観的な分析の上で計画書が作成されていると思う。	保護者の方の思いや児童の様子をよくアクセスメントし支援計画に反映させていく。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1	0	2	個別の面談等、日々の関わりを通し細かな変化に早急に対応され、その時々で必要だと感じる具体的な支援内容が適切に設定されている。	引き続きそれぞれの方向から適切な支援が行えるようしていく。そのうえでそれぞれの支援内容に理解が薄い家庭には面談時に詳しく説明し理解を深めていく。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	2	計画に沿って支援されていると感じている。面談以外で職員からのやりとりの中で話を聞くことがないので、実際にはよく分からな	適切にされているのか疑問に感じている家庭には送迎時にも可能な範囲で定期的に計画の一部と照らし合わせ会話を深め
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	3	0	0	平日の時間が少ない中でも子どもたちが進んで楽しめる活動を計画している。長期休みも室内、戸外様々な場所で普段できない活動を計画してくねい。	安定した活動の内容も必要だが、定期的に新しい活動を作成しマンネリ化しない工夫を心がけていきたい。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	4	4	4	分かりません、交流があったらありがたいと感じる。	される機会が少なかった。年に数回でも他事業所や児童館との交流の場を設けるのも子どもたちには良い経験になると思
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	2	0	1	基本的には丁寧な説明をして頂いたと感じる。契約時の説明で内容を覚えていない。利用者負担の部分の説明をもう少し詳しく知りたい。	理解しやすい表現法を使い納得行くまで説明をさせてもらう。また疑問に感じた時にはどんな時でも気軽に聞けるよう
保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	1	具体的な説明はされている。その都度説明されている。あつたと思う。忘れた。	で、保護者の記憶に残るよう利用日には送迎時等にその日の様子を詳しく伝えていく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2	0	1	講演会のお知らせを頂いているが、実際には家庭の都合等で参加できない。親子イベントも開催されて子どもの成長を知る機会となりありがたいと感じています。	研修会と言うと固いイメージがあり気軽に参加しやすく感じてしまうので、どなたでも参加しやすいような宣伝をし広めていきたい。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。	16	0	0	0	リトムや送迎時に伝えてもらっている。家庭とコバの様子の違い等も共有することで理解が深まる事に繋がっています。	今後も引き続き保護者さまと児童の情報を共有しながら児童のためになるような支援を続けていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	0	2	助言の支援が行われてか分からない。日々の通所や連絡帳だけでなく、個別面談やお電話などでご相談に乗っていただき適正なアドバイスをいただいています。	困っていることがあればいつでも相談していただきたいということや面談の希望があれば対応できるということも伝えていきたい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	1	共感的に支援されてかわからない。子の対応に疲弊するお母さんの体調はどうですか？とお気遣い頂いている。	面談等の機会にどんな時にどのような支援をしてどうなったのか…等具体的にわかりやすく伝えていきたい。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	4	0	0	きょうだい向けのイベントは分かりませんが保護者同士の交流は存じてます。なかなか参加できませんが落ち着いたら参加したいと思います	保護者の方が参加できるようなイベントやきょうだいの関わりがもてるようなイベントも今後検討していきたい。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されていますとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることにについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0	0	3	相談や申入れに迅速に対応していただき感謝しております。	今後も引き続き困っている時に迅速に話を聞き対応ができるようにしていきたい。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1	0	2	子ども本人のメンタルの状況次第です。曜日によりますが、安心して過ごせています。	曜日やメンタルの状況など差があるとは思いますがどんな時でも配慮ができる感じていただけるように対応を職員全体で考えていく
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1	0	1	えんフォトやお便りで行事や活動の様子が見れるので、いつも楽しみにしています。	情報を取りやすく受け取っていただけよう発信の仕方や発信する情報の選択も検討していきたい。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	0	個人情報の取り扱いに不安がない、留意されていると思う。	今後も個人情報の取扱いに、十分に留意する。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	0	3	定期的に訓練を実施したり、LINEでの受信確認の訓練を実施している。緊急時対応マニュアルは自宅にあるが、その他は説明を受けています。	事故防止マニュアル、緊急事対応マニュアル等や、発生を想定した訓練について保護者様に周知・説明していきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	1	訓練はしっかり実施されていると思う。連絡帳を確認すると定期的に避難訓練を行ったと記載がある。	避難訓練を定期的に行い、非常時の対応や職員配置、子どもの引き渡しの方法等確認していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	4	迎時の約束事を明確に子どもに伝えていたり、出入り口の施錠などを徹底している。安全の確保はされていると思うがよくわからぬ。	安心して利用していただけるように、子ども達が安全に車に乗るための約束を確認する、迎え時の人数確認を必ず行う等安全の確保を徹底する。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	3	怪我して、電話で対応の時に、細かく説明があった。小さな怪我でもすぐに処置や連絡をくれる。	子どもが怪我をした時には適切な処置を行い、保護者に必ず伝える。職員同士で共有し、再発防止に努めていきたい。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1	0	0	職員の方に何でも話せるようなので安心して通所している。子ども本人のメンタル次第、利用する曜日にもよる。	子どもとの信頼関係を築き、安心して通所できるようにしたい。メンタルが不安定な時や、苦手な友達がいる時でも、自分の気持ちを安心して職員に話せるとよいから通所が楽しみになるような活動を考えて準備していく。利用する子どもの年齢や発達を考慮する。また、活動の反省点を話し合い、改善点を次に活かしていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	5	0	0	友達と遊ぶことを楽しみにしている。好きな活動の日は楽しみにしている。若干イヤイヤな日も、帰りは「楽し	通所が楽しみになるような活動を考えて準備していく。利用する子どもの年齢や発達を考慮する。また、活動の反省点を話し合い、改善点を次に活かしていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	1	子ども本人だけでなく家族の支援も細やかにしていたいっている。職員の方々も忙しいと思うので難しいかもしれません、子どもの様子がもう少し分かると良いなと思う。	引き続き家庭の状況も視野に入れるながらよく親御さんとコミュニケーションをとりつつ児童の支援を行っていく。児童の様子をもう少し細かく伝えていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果				公表日 令和8年2月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	パーテーションを使用して空間を分けている。活動の時など全員で一度に行わず、2グループに分けている。基準に合わせた面積地になっている。	活動のスペースが狭いので、活動内容の種類ややり方の改善が必要。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	専門職を含め5人以上配置されている。	屋外に行く時の職員の配置を全児童に目が行くように配慮したい。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	視覚的に分かりやすくロッカーや咳の配置をしている。洗面台の前に台を置くなどしている。ガムテープで線を引いたり、パーテーションで場所を区切っている。	職員と児童が利用するトイレが一つしかなく、児童のトイレとも場所が被る。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	毎日掃除を行っている。できるだけスペースを広く使えるように配置している。	床のマットの交換をした方がいい。下校時間の差があるので活動スペースと学習スペースが分けられると良い。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	パーテーションで区切って個別の空間を作っている。必要に応じて廊下でクールダウンをしている。	活動ルーム以外にクールダウンできる部屋・場所があると良い。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	管理者との面談が定期的にある。朝礼や終礼で話し合いをしている。	PDはできているがCAが細かく行えていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	定期的に保護者との面談を行っている。意見を参考に活動内容やイベント内容を立案している。	長期的な改善が必要なもの取り扱かりができていない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	担当者会議や朝礼終礼の中で話している。児発と放ディでも月一でミーティングを行い、業務改善に取り組んでいる。	普段から意見が出しあえる職員の関係づくりをしたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	学校や他事業所、相談支援員からアドバイスをもらっている。	もっと外部評価を入れてもいいでいい。頂いたアドバイスをもとに担当者会議をしていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	Webや外部での研修など受ける機会がある。	研修内容について職員で話し合える機会があると良い。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ホームページで公表されている。	公表されていることをご家族に周知していきたい。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	保護者とのやりとりや児童との普段のコミュニケーションの中で主訴やニーズの確認をし、職員間の話し合いの上計画を作成している。	職員だけではなく保護者や児童と共に理解を深めていきたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	朝礼終礼や担当者会議で情報や意見を出し合い共通理解ができるようにしている。	どの職員からも意見を出しやすい雰囲気を作り、具体的な内容で共通理解できるようにしていきたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	共有されており、方向性は定まっている。計画書を職員全員が目を通すようにしている。活動やこばんプリントを通して計画に合った支援をしている。	日々細かく確認して見直しができると良いです。支援計画の内容を振り返る習慣をつけたい。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	行動観察をし、日々の関わりを大切にしている。	フォーマルなツールを活用していきたい。インフォーマルなアセスメントも職員間で細かく共有していきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	支援内容を設定し、保護者や相談支援員、学校などと定期的に面談ができるようにしている。	地域支援・地域連携と聞いてどの職員も説明しているようにしていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	他職員からの意見を受けて、メインでプログラムを立案している職員がいる。	細かいプログラムの内容は職員が個々で決めているので他職員と相談しながら負担を減らしていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	季節の製作や歌、リトミックを取り入れている。固定している活動と新しい活動とバランスを考えている。同じ活動を行うことで、ルールの理解を深めるために敢えて固定化している部分もある。	新しい活動の引き出しを増やしていきたい。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別として必要な課題と集団の中で必要な課題の両面から計画を立てている。	アセスメントを深められるようにそれぞれの職員が意識して支援に与えられると良い。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	役割分担の確認や意識するところ、気を付けるところの共有をしている。	朝礼でもう少し詳細に話し合いたい。より密な話し合いができるように工夫していく必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	毎日終礼を行い、振り返りを業務日誌に記載している。参加できなかった職員は後日日誌を読むことで共有している。	時間を有効に使い、その日のうちに話せる時間を作りたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	記録は徹底されている。	検証や改善をすることもあるがより活発化されると良い。その時間にいなかつた人にもう少し詳しく共有できる良い。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	半年に1度モニタリングを行い、ご両親や計画相談と情報共有を行い、見直しを行っている。	計画の内容があつてない感じた時にその都度見直しができているわけではないので必要に応じて見直ししていきたい。

関係機関や保護者との連携	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	2	4つの基本活動を組み合わせた支援を行っている。	地域交流の機会と余暇の提供をもっと積極的に行っていきたい。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	自己決定をする力を育てるために、答えをすぐに教えるのではなく、子どもが自分で考えられるようにしている。	自己選択の機会を増やし、自分で決めたら頑張るまでを目標にしていきたい。
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	正確な情報を伝え、本人への理解が深い職員が参加している。	情報伝達を詳細にし、一人の価値観に偏らない意見を持って参画するようにしたい。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	学校には最低でも年に1度放もし、授業の様子や先生との情報交換の場を設けている。他機関との連携が必要と思われる場合には適宜、話し合いの場を設けている。	関係機関との連携をより密に行っていきたい。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	送迎時に担任の先生と情報共有している。学校からの月間予定表を保護者を通していただいている。変更などは学校から連絡がいただける。	日頃から挨拶を交わし、情報共有しやすい関係を築いていきたい。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	同事業所内での情報共有はできている。	他事業所や園から情報を頂くことは少ないで積極的にアポイントを取るようにしたい。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	該当児童がいない為、行っていない。	該当児童が出てきたら速やかに情報提供できるように準備していく。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	研修の情報があり、参加しやすくなっている。研修などで助言を受けることはある。	当事業所に通所しているこどもに対して直接的な助言をもらうことは少ないので今後機会を増やしていきたい。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	機会がなく行えていない。	実際に難しいところがあると感じている。準備を整えて計画を立てていきたい。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	積極的には参加していない。	機会があれば積極的に参加していきたい。自立支援協議会を職員に周知していきたい。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎や連絡帳、年に2回の面談などで状況や課題を伝えている。	共通理解するまでに至らないことがあるので伝え方を工夫し、共通理解できるようにしたい。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	家族参加型のイベントを年に数回企画し、その中で関わり方や特性について考える機会を設けている。	参加率が低いので、興味を持っていただけるような内容やお便りを作っていく。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に丁寧に説明している。また必要であれば都度行っている。	引き続き丁寧な説明をしていきたい。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	送迎時や電話・直接保護者や子どもから意向を確認するようにしている。またモニタリング用紙に記入してもらっている。	今後も子どもの最善の利益を優先して意向を確認できるように配慮していく。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	送迎時や個別面談の前後で説明し、同意を得ている。	より伝わりやすく説明できるように配慮していく。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	日々の相談は連絡帳や電話・送迎時に応じている。こちらから面談を提供するとともにいつでも面談を受けていることを伝えている。	より一層、話しやすい環境を整えていく。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	運動会できょうだい児の参加を促すことや、ふれあいでーで保護者間の交流を図る機会を設けている。	きょうだい児同士の関わりが薄いので積極的に交流できる内容を提案していく。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情があった際には迅速に職員に内容の共有・確認をし、保護者への説明を行っている。	今後も苦情があった際には迅速に対応していきたい。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	月に1度のお便りを出し、活動報告やお知らせ事項を伝えている。行事は別途でお知らせを出している。	連絡体制など見直しをして一番伝わりやすい方法を探していきたい。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	配布物の入れ間違いがないか二重チェックをするなど、書類の管理に気を付けている。	職員がいる時間も書庫の施錠を徹底していく。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	子どもには絵カードやジェスチャーカード、マカトンサインを必要に応じて使っている。保護者には連絡帳で伝わるか、直接伝え方方がいいか判断し、伝えている。	今後も一番伝わりやすい方法を模索していく。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	地域との交流は行えていない。	今後体制を作り、検討していく。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルは策定されており、年度初めに保護者へ周知している。想定される災害に応じて訓練を行っている。	職員にも必要なタイミングで周知しているが、周知しきれていない部分もある。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	年4回様々な被害を想定しての避難訓練と1回の引き渡し訓練を行っている。	訓練の内容をより現実的にし、対応できるようにする。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	2	契約時に情報をもらい共有している。また都度、医療からの情報を共有してもらっている。	職員間で対応の仕方の周知徹底をしていきたい。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	アレルギーの確認はしている。	現在、医師からの指示書が出ている児童はいない為、今後に向けて対応の仕方を徹底していく。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2	安全計画に合わせて毎月確認事項を行っている。定期的に研修や訓練も行っている。	公園や車など安全に関連したところの意識を高めていきたい。事業所の状態が安全管理が十分ではないので見直していく。
	51 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	保護者に引き渡しカードを渡している。また契約時に説明をしている。	安全計画に基づく取り組み内容は周知しているが、更に細かく説明していく必要がある。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットの内容と対応策は報告書を書き、共有している。	再発防止に向けて方策を考えているが、定期的に見直していく必要がある。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	年に3回の虐待アンケートを取り、虐待について考える機会を設けている。オンラインを使っての研修もある。	もっと研修の機会を増やしていきたい。

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2	現在身体拘束を必要としている児童はいない。	必要となった際には保護者に周知し、了承を得たうえで記載していく。
----	--	---	---	-----------------------	----------------------------------